



人間を「売る方」と「売られる方」とに差別するため、使用されるようになった言葉——人種(Race)。1775年、ドイツの医師ヨハン・フリードリヒ・ブルーメンバッハがヒト(ホモ・サピエンス)を5種に分類した論文を発表。その後、連続的に混ざりあうヒトを分類するのは不可能とされるも、人種で差別しあう意識/言動は様々なレベルで日常に根付いた。奴隷船のように分類された概念にあわせ、無理やりその状態に収まっているは毒だ。分類されること・することから逃れたい……そんな想いから、5種が象徴する肌色を身体上で混ぜ合わせ、カモフラージュした。攻撃/自衛を目的としたカモフラージュではなく、分類された領域をぼかし、混ぜ合わせて開放していくカモフラージュ。わたしたちはみんな雑種なのだから、ピュアなナントカ人のフリをして排他的になるより、お互いに様々なことを共有していきたい。ちなみに、ホモ・サピエンスは「知恵のある人」という意味……みんなで知恵を搾ったら、分類病に効く良薬になるだろう——ヒトと乾杯するのがスキだ。

Route 246

vol.2

Camouflage

作品について

世界中の人々が映し出されるプロジェクターの光を浴びながら、5種の人種が象徴する肌色を身体に擦りつけるようにカモフラージュ——不可視な雑種性の可視化を試みた。写真は、大陸の輪郭線だけをかたどった真っ白な世界地図の前で両手を広げている様子。強要された「hands up」ではなく、自らの意思で攻撃意思のないことを伝える「hands side」のポーズ/ウィトルウィウスの人体図のイメージ。

* カラーバージョンはウェブサイトにて公開中
http://www.parc-jp.org/alter/2009/alter_2009_05-06_246.pdf

パフォーマンスイベント「ナンゾザランヤ6」@中野RAFT(05/03/09) 撮影: MAYA from West End



花崎 草(はなさき・かや) / 2009年3月、多摩美術大学油画科卒業。個人での表現活動の他「ホー娘。」「XX FREAKS TOKYO」「CHANOMAD / 茶乃窓」「鳥は卵の中から抜け出ようと戦う」「893」等、グループでの表現活動にも参加。ブログ「野良草~nora-kaya~」<http://kayabana.exblog.jp/>